# 第２章　津和野町の歴史文化遺産の概要と特徴

## 第１節　津和野町の歴史文化遺産の概要

### １　指定・選定及び登録文化財

津和野町の指定・選定の文化財は、令和３年(2021)５月末現在、国指定が９件、国選定が１件、県指定が 17 件、町指定が 25 件であり、合計 52 件である。その内訳は下表に示すとおりである。

上記以外に国の登録有形文化財（建造物）が 17 件（56 棟)、登録記念物（名勝地関係）が５件ある。

津和野町の指定等文化財の特徴としては、有形文化財（建造物）や史跡、民俗文化財が旧城下町一帯に集積し、その北側の一部は重要伝統的建造物群保存地区に選定されていることがあげられる。また、登録有形文化財、登録記念物の多さも指摘できる。さらに、原始・古代、中世、近世、近代の指定文化財が存在し、連綿と続く津和野町の歴史を表している。

地域の歴史的魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定する「日本遺産」制度は、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある様々な有形・無形の文化財群を総合的に活用するものである。津和野町では平成 27 年(2015)４月に「津和野今昔～百景図を歩く～」が、令和元年(2019)５月に「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見(いわみ)地域で伝承される神楽～」（浜田(はまだ)市、益田(ますだ)市、大田(おおだ)市、江津(ごうつ)市、川本(かわもと)町、美郷(みさと)町、邑南(おおなん)町、津和野町、吉賀(よしか)町)が、日本遺産に認定されている。

表 2-1　文化財の指定・選定・登録の状況（令和３年(2021)５月末現在）　　単位：件

| 種　別 | 区　分 | 国指定・選定 | 県指定 | 町指定 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 有形文化財 | 建造物 | 1 | 3 | 1 | 5 |
| | 美術工芸品 | 0 | 8 | 1 | 9 |
| 民俗文化財 | 有形民俗文化財 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 無形民俗文化財 | 1 | 2 | 4 | 7 |
| 記念物 | 史跡 | 5 | 2 | 11 | 18 |
| | 名勝 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 天然記念物 | 0 | 1 | 8 | 9 |
| | 天然記念物及び名勝 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 伝統的建造物群 | | （選定）1 | － | － | 1 |
| 合　計 | | 10 | 17 | 25 | 52 |

| | |
|---|---|
| 登録有形文化財 | 56 棟 |
| 登録記念物（名勝地関係） | ５件 |
| 日本遺産（国認定） | ①「津和野今昔～百景図を歩く～」（津和野町）<br>構成文化財：津和野城跡、弥栄神社、弥栄神社の鷺舞神事、山陰道、雄滝・雌滝・青野山、高津川の鮎など<br>②「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」（浜田市、益田市、大田市、江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町）<br>構成文化財：石見神楽、柳神楽、柳神楽の面と衣装、三渡八幡宮、太皷谷稲成神社、角寿司・押し寿司（津和野町関係） |

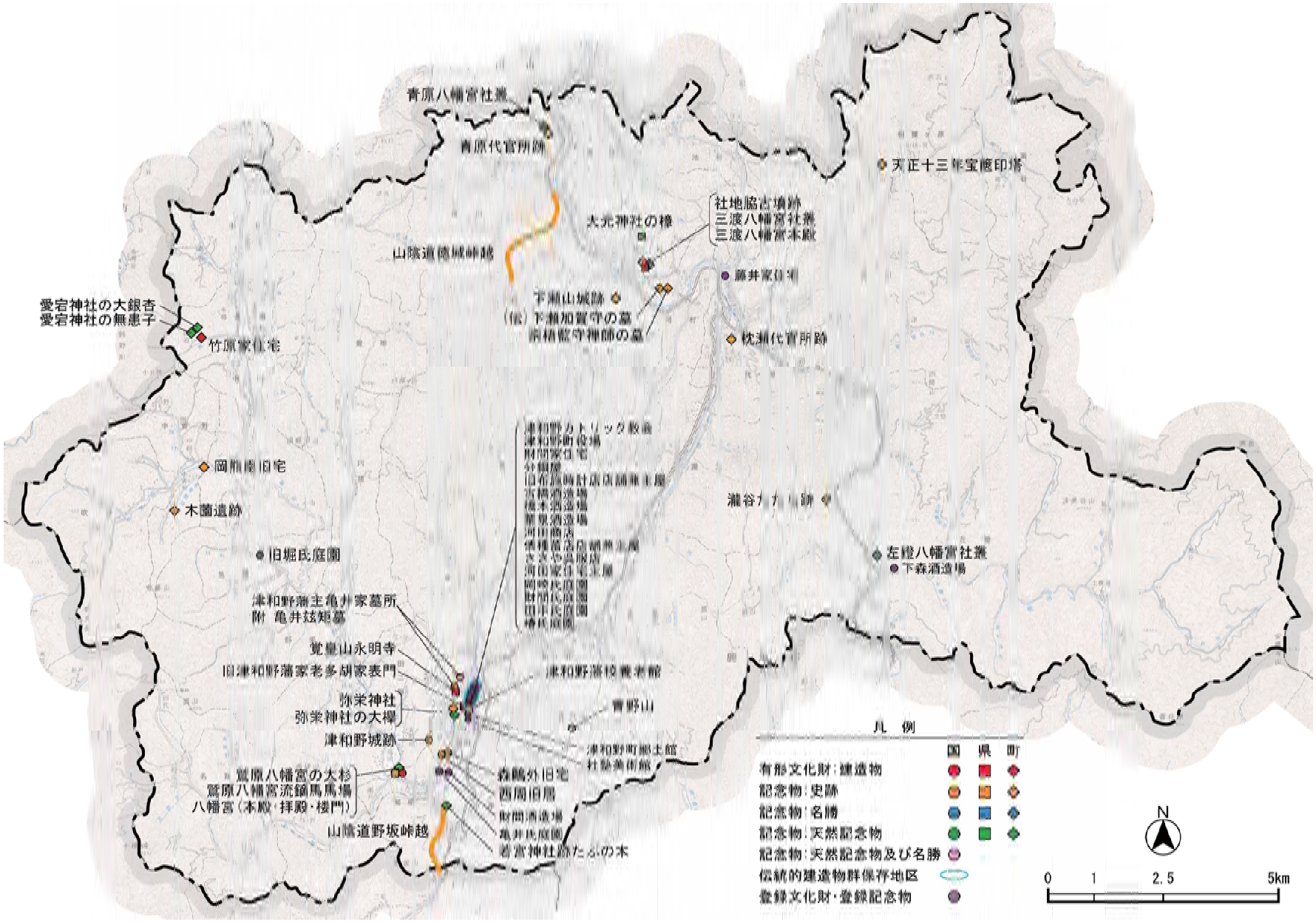



図 2-1　津和野町の指定等文化財の分布（不動産関係）

表 2-2　津和野町の指定等文化財　　（１／２）

| 種　別 | | | | 名　称 | 指定等年月日 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 有形文化財 | 建造物 | | 国 | 八幡宮　本殿　拝殿　楼門 | S47.3.31(県指定)<br>H23.11.29(国指定) | 鷲原八幡宮 |
| | | | 県 | 旧津和野藩家老多胡家表門<br>（表門・番所・土塀） | S40.4.1 | 多胡家表門 |
| | | | 〃 | 三渡八幡宮本殿<br>附・棟梁之記（松材）１枚 | H7.10.27 | 三渡八幡宮 |
| | | | 〃 | 永明寺<br>附・棟札２枚 | S4.2.18（町指定）<br>H5.12.28(県指定) | 永明寺 |
| | | | 町 | 竹原家住宅 | H18.5.1 | |
| | 美術工芸品 | 絵画 | 県 | 西周肖像（高橋由一筆） | S47.3.31 | |
| | | | 〃 | 絹本著色十六羅漢像図 | S49.12.27 | |
| | | 書跡 | 〃 | 紺地金字妙法蓮華経安楽行品 | S41.5.31 | |
| | | | 〃 | 紙本墨書新勅撰和歌集 | H5.5.11 | |
| | | 古文書 | 〃 | 天球儀・地球儀 | S49.12.27 | |
| | | | 〃 | 紙本著色日本国地理測量之図<br>紙本著色東三拾三国沿岸測量之図 | S60.4.23<br>S60.4.23 | |
| | | | 〃 | 石見国絵図 | S56.4.23 | |
| | | 工芸品 | 県 | 太刀銘直綱附糸巻太刀拵 | H10.3.27 | |
| | | 歴史資料 | 町 | 鷲原八幡宮社殿奉納掲額 | S52.12.17 | |
| 民俗文化財 | 重要無形民俗文化財 | | 国 | 津和野弥栄神社の鷺舞 | H6.12.13 | 弥栄神社の鷺舞 |
| | 有形民俗文化財 | | 県 | 柳神楽の面と衣装 | S42.5.24 | |
| | 無形民俗文化財 | | 県 | 津和野踊 | S37.6.12 | |
| | | | 〃 | 柳神楽 | S43.6.7 | |
| | | | 町 | 鷲原八幡宮の流鏑馬神事 | H8.4.1 | |
| | | | 〃 | 日原奴道中 | H30.2.22 | |
| | | | 〃 | 青原奴道中 | H30.2.22 | |
| | | | 〃 | 子鷺踊り | R2.11.30 | |
| 記念物 | 史跡 | | 国 | 津和野城跡 | S17.10.14<br>S47.5.26<br>H19.7.26 | |
| | | | 〃 | 森鷗外旧宅 | S44.10.29 | |
| | | | 〃 | 西周旧居 | S62.7.20 | |
| | | | 〃 | 山陰道　蒲生峠越・徳城峠越・野坂峠越 | H17.3.12<br>H21.2.12 | 山陰道<br>徳城峠越・<br>野坂峠越 |
| | | | 〃 | 津和野藩主 亀井家墓所　附　亀井茲矩 墓 | H30.2.13 | 亀井家墓所 |
| | | | 県 | 鷲原八幡宮流鏑馬馬場 | S41.5.31 | |
| | | | 〃 | 津和野藩校養老館 | S44.2.18 | 藩校養老館 |
| | | | 町 | 木薗遺跡 | S54.9.15 | |
| | | | 〃 | 岡熊臣旧宅 | H8.12.10 | |
| | | | 〃 | 下瀬山城跡 | S41.8.1 | |
| | | | 〃 | 宗梧監守禅師の墓 | S41.8.1 | |
| | | | 〃 | （伝）下瀬加賀守の墓 | S41.8.1 | |
| | | | 〃 | 社地脇古墳 | S60.9.5 | |
| | | | 〃 | 天正十三年在銘宝篋印塔 | S60.9.5 | |
| | | | 〃 | 瀧谷たたら跡 | S60.9.5 | |
| | | | 〃 | 枕瀬代官所跡 | S60.9.5 | |
| | | | 〃 | 青原代官所跡 | S60.9.5 | |
| | | | 〃 | 弥栄神社 | R2.11.30 | |

表 2-2　津和野町の指定等文化財　　（２／２）

| 種　別 | | | 名　称 | 指定等年月日 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 記念物 | 名勝 | 国 | 旧堀氏庭園 | H17.7.14 | |
| | 天然記念物 | 県 | 大元神社の樟 | S33.7.1 | |
| | | 町 | 愛宕神社の大銀杏 | S48.10.23 | |
| | | 〃 | 愛宕神社の無患子 | S48.10.23 | |
| | | 〃 | 弥栄神社の大欅 | S48.10.23 | |
| | | 〃 | 鷲原八幡宮の大杉 | S48.10.23 | |
| | | 〃 | 若宮神社跡たぶの木 | S56.4.28 | |
| | | 〃 | 三渡八幡宮社叢 | S50.9.5 | |
| | | 〃 | 青原八幡宮社叢 | S50.9.5 | |
| | | 〃 | 左鐙八幡宮社叢 | S50.9.5 | |
| | 天然記念物及び名勝 | 国 | 青野山 | R1.10.16 | |
| 伝統的建造物群 | | 国 | 津和野町津和野伝統的建造物群保存地区 | H25.8.7 | 重要伝統的建造物群保存地区 |
| 登録有形文化財 | | 国 | 津和野カトリック教会（２棟） | H8.12.26<br>H22.7.16 | カトリック教会 |
| | | 〃 | 津和野町役場（旧鹿足郡役所） | H8.12.26 | 旧鹿足郡役所 |
| | | 〃 | 津和野町郷土館 | H20.7.8 | |
| | | 〃 | 下森酒造場（７棟） | H20.7.8 | |
| | | 〃 | 藤井家住宅（２棟） | H20.7.8 | |
| | | 〃 | 財間家住宅（７棟） | H22.7.16 | |
| | | 〃 | 分銅屋（４棟） | H22.7.16 | |
| | | 〃 | 旧布施時計店店舗兼主屋 | H22.7.16 | |
| | | 〃 | 古橋酒造場（５棟） | H22.7.16 | |
| | | 〃 | 橋本酒造場（３棟） | H22.7.16 | |
| | | 〃 | 華泉酒造場（５棟） | H22.7.16 | |
| | | 〃 | 河田商店（５棟） | H22.7.16 | |
| | | 〃 | 俵種苗店店舗兼主屋 | H22.7.16 | |
| | | 〃 | ささや呉服店（４棟） | H22.7.16 | |
| | | 〃 | 河田家住宅主屋 | H22.7.16 | |
| | | 〃 | 杜塾美術館（２棟） | H22.7.16 | |
| | | 〃 | 財間酒造場（５棟） | H24.8.13 | |
| 登録記念物（名勝地関係） | | 国 | 亀井氏庭園 | H20.7.28 | |
| | | | 岡崎氏庭園 | H25.8.1 | |
| | | | 財間氏庭園 | H25.8.1 | |
| | | | 田中氏庭園 | H25.8.1 | |
| | | | 椿氏庭園 | H25.8.1 | |

※町指定の無形民俗文化財であった「奴行列」は保持者である奴行列保存会が解散したため、令和２年(2020)11 月 30 日、指定を解除した。また、町指定の天然記念物であった「安蔵寺山の大ミズナラ」は倒木したため、令和２年(2020)11 月 30 日、指定を解除した。

※備考欄は、指定等文化財の名称の本書における表記を記す。

### 八幡宮 本殿・拝殿・楼門

国指定
重要文化財（建造物）

### 三渡八幡宮本殿 附・棟梁之記

県指定
有形文化財（建造物）

### 竹原家住宅

町指定
有形文化財（建造物）

### 絹本著色十六羅漢像図

県指定
有形文化財（絵画）

### 紙本墨書新勅撰和歌集

県指定
有形文化財（書跡）

### 紙本著色日本国地理測量之図
### 紙本著色東三拾三国沿岸測量之図

県指定
有形文化財（古文書）

### 旧津和野藩家老多胡家表門

県指定
有形文化財（建造物）

### 永明寺 附・棟札2枚

県指定
有形文化財（建造物）

### 西周肖像（高橋由一筆）

県指定
有形文化財（絵画）

### 紺地金字妙法蓮華経安楽行品

県指定
有形文化財（書跡）

### 天球儀・地球儀

県指定
有形文化財（古文書）

### 石見国絵図

県指定
有形文化財（古文書）

※写真は一部です

## 太刀銘直綱附糸巻太刀拵

県指定
有形文化財（工芸品）

## 鷲原八幡宮社殿奉納掲額

町指定
有形文化財（歴史資料）

## 津和野弥栄神社の鷺舞

国指定
民俗文化財
（重要無形民俗文化財）

## 柳神楽の面と衣装

県指定
民俗文化財
（有形民俗文化財）

## 津和野踊

県指定
民俗文化財
（無形民俗文化財）

## 柳神楽

県指定
民俗文化財
（無形民俗文化財）

## 鷲原八幡宮の流鏑馬神事

町指定
民俗文化財
（無形民俗文化財）

## 日原奴道中

町指定
民俗文化財
（無形民俗文化財）

## 青原奴道中

町指定
民俗文化財
（無形民俗文化財）

## 子鷺踊り

町指定
民俗文化財
（無形民俗文化財）

## 津和野城跡

国指定
記念物（史跡）

## 森鷗外旧宅

国指定
記念物（史跡）

## 西周旧居

国指定
記念物(史跡)

## 山陰道(蒲生峠越・徳城峠越・野坂峠越)

国指定
記念物(史跡)

## 津和野藩主亀井家墓所 附 亀井茲矩墓

国指定
記念物(史跡)

## 鷲原八幡宮流鏑馬馬場

県指定
記念物(史跡)

## 津和野藩校養老館

県指定
記念物(史跡)

## 木薗遺跡

町指定
記念物(史跡)

## 岡熊臣旧宅

町指定
記念物(史跡)

## 下瀬山城跡

町指定
記念物(史跡)

## 宗梧監守禅師の墓

町指定
記念物(史跡)

## (伝)下瀬加賀守の墓

町指定
記念物(史跡)

## 社地脇古墳

町指定
記念物(史跡)

## 天正十三年在銘宝篋印塔

町指定
記念物(史跡)

### 瀧谷たたら跡

町指定
記念物(史跡)

### 枕瀬代官所跡

町指定
記念物(史跡)

### 青原代官所跡

町指定
記念物(史跡)

### 弥栄神社

町指定
記念物(史跡)

### 旧堀氏庭園

国指定
記念物(名勝)

### 大元神社の樟

県指定
記念物(天然記念物)

### 愛宕神社の大銀杏

町指定
記念物(天然記念物)

### 愛宕神社の無患子

町指定
記念物(天然記念物)

### 弥栄神社の大欅

町指定
記念物(天然記念物)

### 鷲原八幡宮の大杉

町指定
記念物(天然記念物)

### 若宮神社跡たぶの木

町指定
記念物(天然記念物)

### 三渡八幡宮社叢

町指定
記念物(天然記念物)

### 青原八幡宮社叢

町指定
記念物（天然記念物）

### 左鐙八幡宮社叢

町指定
記念物（天然記念物）

### 青野山

国指定
記念物
（天然記念物及び名勝）

### 津和野町津和野伝統的建築物群保存地区

国選定
重要伝統的建築物群
保存地区

### 津和野カトリック津和野教会（２棟）

国登録
有形文化財

### 津和野町役場（旧鹿足郡役所）

国登録
有形文化財

### 津和野町郷土館

国登録
有形文化財

### 下森酒造場（７棟）

国登録
有形文化財

### 藤井家住宅（２棟）

国登録
有形文化財

### 財間家住宅（７棟）

国登録
有形文化財

### 分銅屋（４棟）

国登録
有形文化財

### 旧布施時計店店舗兼主屋

国登録
有形文化財

古橋酒造場（５棟）

国登録
有形文化財

橋本酒造場（３棟）

国登録
有形文化財

華泉酒造場（５棟）

国登録
有形文化財

河田商店（５棟）

国登録
有形文化財

俵種苗店店舗兼主屋

国登録
有形文化財

ささや呉服店（４棟）

国登録
有形文化財

河田家住宅主屋

国登録
有形文化財

杜塾美術館（２棟）

国登録
有形文化財

財間酒造場（５棟）

国登録
有形文化財

亀井氏庭園

国登録
記念物（名勝地関係）

岡崎氏庭園

国登録
記念物（名勝地関係）

財間氏庭園

国登録
記念物（名勝地関係）

## 田中氏庭園

国登録
記念物(名勝地関係)

## 椿氏庭園

国登録
記念物(名勝地関係)

## 津和野今昔～百景図を歩く～

国認定　日本遺産

## 神々や鬼たちが躍動する神話の世界

～石見地域で伝承
される神楽～

国認定　日本遺産

## 2　未指定文化財

津和野町における未指定文化財については、国（文化庁）の委託事業である「文化財総合的把握モデル事業」の採択を受け、平成 20 年度(2008)～22 年度(2010)年度において次の調査を実施した。

○地元調査員による調査

・既往の調査・研究などの資料から調査リストを作成

・調査カードの作成（一部、指定・登録文化財を含む）※次頁写真

調査項目：種別、名称、所在地、地区、所有者、文化財の概要（形態、規模、材質、立地、制作者等、特徴、保存状況）、文献、時代、指定、関連群、地図、分野（衣・食・住・農耕・養蚕・たたら…）、写真、位置図、略図、メモ、調査年月日

○公民館などによる地域住民を対象とした聞き取り（地域の宝の再発見　ワークショップ）

・８地区で実施：畑迫、左鐙、青原、津和野（橋南）、津和野（橋北）、日原、小川、木部

・畑迫は２回、他は各１回、ワークショップを開催

・出された「地域の宝」は表と図（マップ）で整理

○教育委員会・専門家等による調査（詳細な調査：一部、指定・登録文化財を含む）

・社寺建築調査：鷲原八幡宮、永明寺、弥栄神社、旧堀氏庭園「楽山荘」

・登録有形文化財群調査

・津和野藩邸板戸調査

・近代行政文書調査

・堀氏文書調査

・仏像調査

・その他文書調査：「島根県古文書等所在確認調査報告」（昭和 52・53 年　島根県）に掲載されている文書の確認調査、及び新たな資料の発見

このうち、住民参加の調査（地元調査員による調査、ワークショップ）の流れは、下図のようになる。

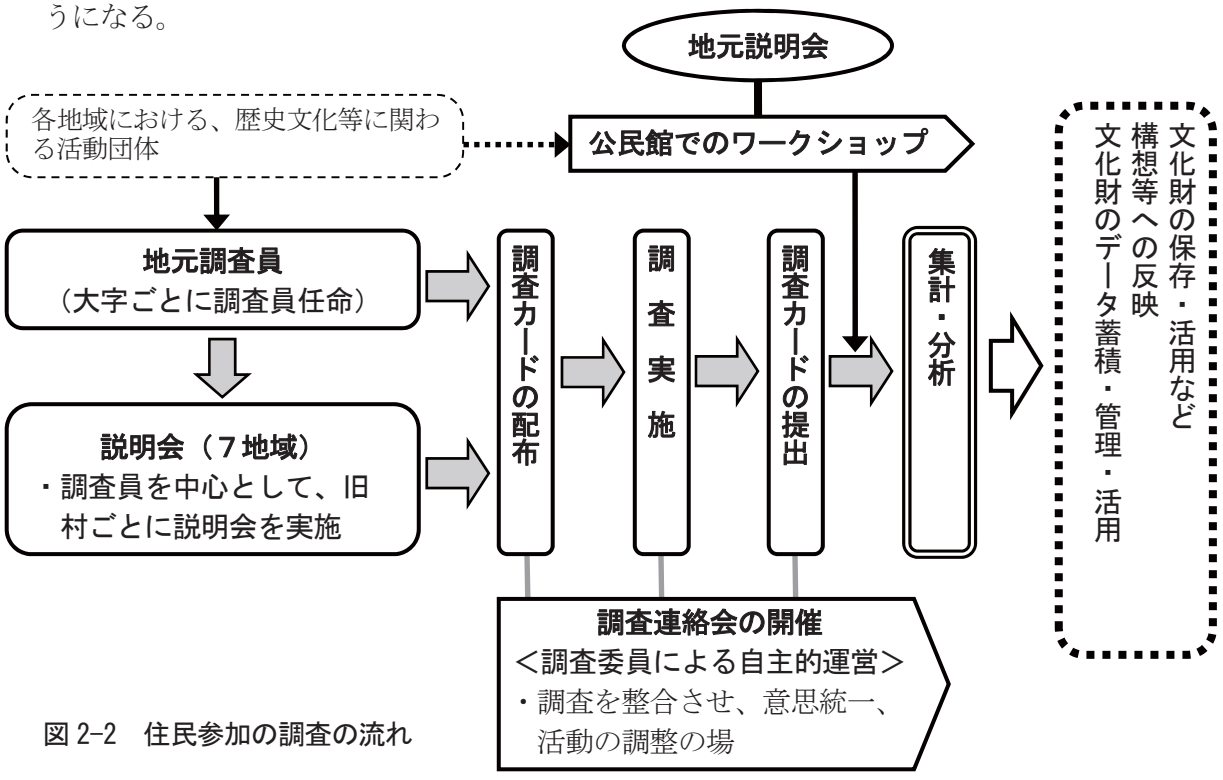



図 2-2　住民参加の調査の流れ

これら平成 20 年度(2008)～22 年度(2010)に実施した調査等のうち、地元調査員による調査（調査カード）の結果を整理した時点で約 1,200 件の未指定文化財（一部、指定・登録文化財を含む）を把握している。

また、平成 31 年度(2019)～令和２(2020)年度に行った津和野町歴史文化遺産調査では、次の調査を追加実施して、周知の埋蔵文化財を含めて新たに未指定文化財が約 300 件追加され、合計約 1,500 件の未指定文化財が把握できている。

○地元調査員による調査

・既往の調査カードなどの状況把握（調査説明会）

・追加調査カードの作成（一部、既存調査の補足を含む）

調査項目は、前回調査と同じ

○地域住民を対象とした聞き取り

（地域の資源の再発見　歴史文化遺産保存・活用ワークショップ）

・２地域で実施：津和野、日原（にちはら）（平成の合併前の旧町単位）

○教育委員会・専門家等による調査

・金属生産関連遺跡調査（元梅光学院大学教授　渡辺一雄氏）

・城館跡調査（元島根県中近世城館跡調査員　山根正明氏）

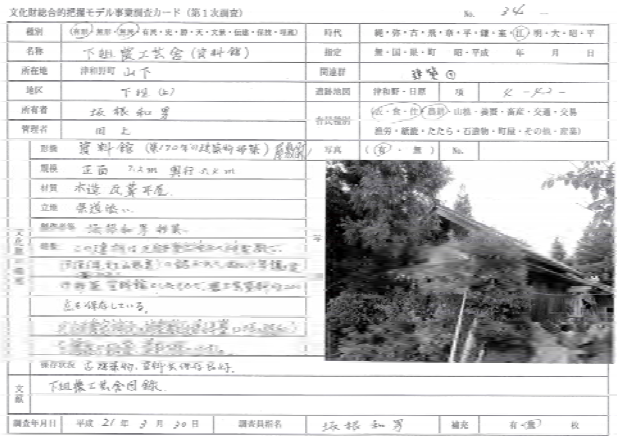
・天然記念物調査（津和野町文化財保護審議委員　柳井良仁氏）

これまでの調査の全体像を示すと次頁の表（表 2-3、2-4）のようになる。

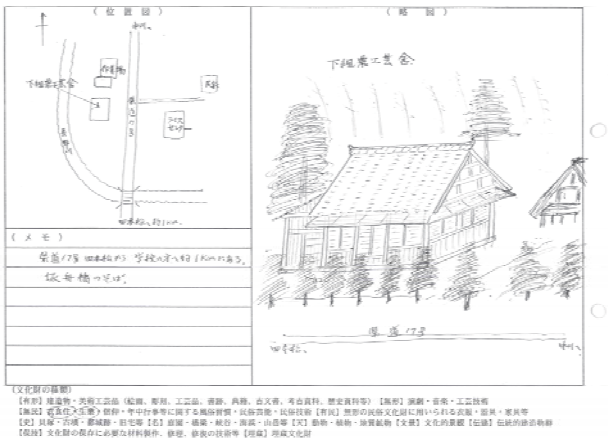
この数は、未指定文化財の一部であると考えられ、今後とも未指定文化財の調査（把握調査など）を行う必要がある。

なお、令和元年(2019) ９月に実施したワークショップで出された歴史文化遺産などについては、資料編「３　歴史文化遺産保存・活用ワークショップ」に記載している。

**＜調査カードの例（地元調査員による調査）＞**




表




裏

表 2-3　地元調査員等による未指定文化財の調査

（平成 20 年度(2008)～令和 2 年度(2020)の調査）

| 地　区 | 把握した未指定文化財<br>（調査カード作成件数） | 概要<br>（一部紹介） |
|---|---|---|
| 津和野(後田) | 208 | ・伊澤蘭奢(らんじゃ:1889～1928)の墓:伊澤は日本の新劇女優<br>・鷺舞碑(弥栄神社境内):約 1.2mの自然石の碑　など |
| 津和野(後田以外) | 209 | ・芭蕉句碑　　・岡野益清・春清の墓:画人<br>・高崎亀井家屋敷跡・裏門石垣　など |
| 木部 | 255 | ・鉱滓の出土地<br>・吉見一族の居館跡　　・吉見家の墓:宝篋印塔など |
| 畑迫 | 127 | ・山城跡:寺山城跡<br>・畑ヶ迫銀銅山　　・ゲンジボタルなど |
| 小川 | 145 | ・青野山爆裂火口跡　　・青野山王権現<br>・芭蕉句碑　　・麓耕子安観音・観音堂　など |
| 日原 | 173 | ・カブトエビ、ホウネンエビ　　・アマナ(ユリ科の植物)の群生地<br>・柳の舞:三十数通りの舞　など |
| 青原 | 78 | ・原田家の墓<br>・青原鉱山跡、新金山鉱山跡、柳珪石鉱山跡　　・棚田　など |
| 左鐙 | 79 | ・日原発電所、左鐙発電所跡　　・たたら跡:数多く分布<br>・布さらしの滝、畳岩　　・畳鉱泉　　・わさび発祥の地　など |
| 須川 | 42 | ・鰻絵:龍、鶴と亀<br>・峠:津和野奥筋往還門松峠、笹ヶ峠、七曲がり峠、地蔵峠など |
| 津和野地域 | 122 | 周知の埋蔵文化財　・土居丸館跡など |
| 日原地域 | 52 | 周知の埋蔵文化財　・日原遺跡など |
| 合計 | 1,490 | |

表 2-4　地元調査員等による未指定文化財の調査の件数

（平成 20 年度(2008)～令和 2 年度(2020)の調査）

| 地域 | 区域 | 有形文化財 | 無形文化財 | 民俗文化財 | 記念物 | 文化的景観 | 伝統的建造物群 | その他 | 小計 | 周知の埋蔵文化財 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 津和野 | 津和野(後田) | 55 | 3 | 3 | 141 | 2 | 0 | 4 | 208 | 122 | 1066 |
| | 津和野(後田以外) | 45 | 1 | 1 | 160 | 0 | 2 | 0 | 209 | | |
| | 木部 | 50 | 1 | 7 | 191 | 3 | 1 | 2 | 255 | | |
| | 畑迫 | 17 | 0 | 11 | 97 | 2 | 0 | 0 | 127 | | |
| | 小川 | 18 | 0 | 16 | 108 | 3 | 0 | 0 | 145 | | |
| 日原 | 日原 | 47 | 0 | 8 | 111 | 6 | 0 | 1 | 173 | 52 | 424 |
| | 青原 | 24 | 0 | 2 | 51 | 1 | 0 | 0 | 78 | | |
| | 左鐙 | 20 | 0 | 4 | 51 | 2 | 0 | 2 | 79 | | |
| | 須川 | 6 | 0 | 2 | 33 | 0 | 0 | 1 | 42 | | |
| | 合計 | 282 | 5 | 54 | 943 | 19 | 3 | 10 | 1316 | 174 | 1490 |

## 第２節　津和野町の「歴史文化遺産」と「歴史文化」の特徴

### １　津和野町の「歴史文化遺産」の特徴から見出した「歴史文化」の３つの特徴

津和野町の歴史文化遺産が示す特徴を個別に見出し、共通する視点（切り口）で大きく区分すると、野・山・街という３つのキーワードでくくることができる。

さらに歴史文化遺産を周辺環境も含め総体として把握することで、野・山・街を軸とする歴史文化について以下のような３つの特徴が見出される。

**野　～高津川の恵みと農村文化～**
**山　～源流域の森林・産業文化と天領と山城群～**
**街　～城下町と交易・交流の文化～**

### （1）「野」に関わる「歴史文化遺産」の特徴

**■農村集落、棚田などの多彩な文化的景観**

津和野町には、山間の小規模な平地や斜面地を生かした農村集落や棚田が、分散する形で数多く存在する。これらは、農地や川、周辺の山、森と相まって、それぞれに固有の文化的景観を形づくっている。

**■街道と舟運が培った歴史と文化**

津和野町には、史跡に指定された山陰道（徳城峠越・野坂峠越）があり、さらに、津和野廿日市街道、津和野奥筋往還などの歴史的な道を確認することができる。また、清流高津川は、支流を含め舟運によって人・物などが行き交い、地域を支え・発展させた歴史がある。

このように、津和野町は街道と舟運による交易・交流によって歴史や文化が培われてきた地域でもある。

**■清流高津川と生業・暮らしの文化**

清流高津川は、鮎、ツガニ（モクズガニ）、ウナギなどの豊かな川の恵みをもたらしてきた川であり、漁労や食文化などをはぐくんできた。

現在でも伝統的な漁やその道具などが残り、アユ漁は風物詩になっている。また、豊かな森林を背景に営まれたたたら場の跡が多数存在するほか、清流に育まれたワサビ田もあり、ワサビは津和野町の特産品となっている。

**■農の生業・暮らしの文化**

平地部が少ないなど決して恵まれているとはいえない地形条件の中で自然を生かし、ときには自然に立ち向かい米づくりが行われ、ハゼ、養蚕などの生業が営まれてきたことが、歴史的建造物や民俗文化財などとして伝えられている。

また、柳神楽（県無形民俗文化財）と柳神楽の面と衣装（県有形民俗文化財）、地芝居・農村歌舞伎、田植え囃子なども継承されている。

**■野の素材の加工**

津和野町では、米、木・竹、ハゼ、まゆ、鉄など、野の生産物（素材）を生かした酒、和紙、竹細工、ロウ、生糸、鍛冶などの生業が営まれてきた。

これらのうち、ロウや生糸の生産、鍛冶などは現在行われなくなったが、多数の民俗文化財等が残され、鍛冶に使う鉄を生産していたたたら跡は各地で確認され、瀧谷たたら跡は町指定の史跡となっている。生糸に関しては、特に日原地域で養蚕業が盛んであったことから、道の駅「シルクウェイにちはら」の名称の由来ともなっている。また、前述のように酒蔵が旧城下町に位置し、ロウを収蔵し商っていた商家も登録有形文化財となっている。

**■自然の恵みと食文化**

津和野町は、川や農、山の恵みを享受できる地域であり、アユやツガニ（モクズガニ）をはじめとした川魚料理、干しアユで出汁を取った雑煮、イノシシやウサギなどの肉食文化、ワサビやワサビ漬け、料理にユズを利用する習慣（殺菌効果と風味）など多様な食文化が継承されている。

また、交易・交流によって海産物や京都の食文化がもたらされた地域であり、小鯛で出汁を取る津和野独特の芋煮は日本三大芋煮（津和野町、山形県中山町、愛媛県大洲市）の一つに数えられ、おかずをご飯の下にした「うずめ飯」、鰤のアラとスイバ（タデ科の多年草で酸味がある）を煮込んだ「すいば汁」も郷土料理として伝えられている。加えて、『源氏物語』に由来すると伝えわる「源氏巻」は津和野を代表する特産品となっている。

**■天領の集落**（畑迫ほか）

畑迫などは、山間の山村又は農村集落であるが、近くに笹ヶ谷鉱山があったことから江戸幕府の直轄領（天領）となり、発展した歴史がある。

銅山師（経営者）であった堀氏は、鉱山だけではなく、畑迫の生活の場の整備も進めた。

※次の「（２）「山」に関わる歴史文化（歴史文化遺産）の特徴」を参照

## （２）「山」に関わる「歴史文化遺産」の特徴

**■数多くの鉱山の存在と天領の歴史と文化**

津和野町には、天領を構成していた笹ヶ谷鉱山や日原銅山の跡があり、その他にも畑ヶ迫銅山の跡などが残されている。

笹ヶ谷鉱山については、中世・近世・近代と操業を続け、山中には坑口や縦坑、選鉱場の跡、大煙突の遺構などが残されている。

日原銅山については、銅山跡が日原の中心部近くの山中に位置し、町中には天領や高津川の舟運の名残を感じさせる古民家などが残されている。

**■鉱山経営に関わる建造物と近代化遺産**

笹ヶ谷鉱山は、長い間操業を続けた鉱山であり、多くの人々が働き、地域での暮らしが営まれていた。銅山師（経営者）であった堀氏は、鉱山だけではなく、庭園など生活文化の場の整備も進め、その敷地は国の名勝に指定されている。また、堀氏により建設された畑迫病院や水力発電所跡などの近代化遺産が残っている。

**■数多くのたたら場の存在**

津和野町の豊かな森（特に左鐙地区）は、近代製鉄が生まれるまで「たたら製鉄」が盛んに行われていた地域である。

現在、たたら場跡は、樹木に覆われた状態であるが、左鐙地区を中心に数多く存在する。そのうちの瀧谷たたら跡は町指定史跡となっている。

**■数多くの中世山城群**

津和野町では、弘安５年(1282)の吉見氏の入部以降、蒙古の再襲来に備えて築城が始まり、戦国期を含め、多数の山城が築かれた。

多数の山城の中でも、下瀬山城跡と御嶽城跡は津和野城の支城として重視されており、それぞれ中世津和野城主吉見氏の一族であった下瀬氏と長野氏の居城として機能していた。

**■山・源流の産物と生活文化**

津和野町には豊かな森があり、源流域を形成している。その地域では木材が生産され、紙の原料であるコウゾ・ミツマタが採れるほか、ワサビが育てられている。また、炭焼きや狩猟が

わずかながらも引き継がれ、炭焼きの跡も確認できる。

こうした山や源流の産物は、それ自体や生産過程が文化であると同時に、地域の生活文化と一体として存在する。

**■山岳信仰**

津和野町を代表する青野山と安蔵寺山は、山岳信仰の象徴的な場となってきた。青野山一帯には神社や神社跡があり、安蔵寺山一帯には寺屋敷跡や地蔵などが残されている。

**■天然記念物**

津和野町には、島根県下（県境以外）で最も標高の高い安蔵寺山が位置し、豊かな森が源流域を形成しており、ミズナラをはじめとする大木や滝は信仰の対象ともなっている。

また、多種多様な動植物が生息・生育している。

## （3）「街」に関わる「歴史文化遺産」の特徴

**■津和野城跡と旧城下町の一体的な構成**

津和野城跡は、全国的にも希有な中世から近世に存続した山城跡であり、山城の居館を構成していた櫓が残っているのは津和野城跡だけである（山麓部に現存する馬場先櫓、物見櫓）。

また、旧城下町の町割の多くが継承され、城跡と旧城下町が一体的に残っている。

**■武家・商家などの歴史的建造物の存在と石見瓦の街並み**

旧城下町には、江戸時代の武家・商家などの建物が残り、また、明治以降の歴史的な建物も多数残っている。

また、建物の大半が石見瓦（赤瓦）を使用しており、街並みの景観を特徴づけている。

旧城下町のうち、橋北地区の殿町から祇園丁及び新丁通り、万町通り一帯の 11.1ha が、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

**■水の文化**

藩校養老館前の水路などには鯉が泳ぎ、観光資源にもなっている。特に重要伝統的建造物群保存地区一帯では、水路の蓋掛けなどがなされている区間もあるが、城下町時代の水路網を継承した数多くの水路が現在も利用されている。

旧城下町の民家（商家）などには、京都の文化を取り入れた庭園があり、いくつかの庭園では水路の水が導かれている。庭園は煎茶文化などとともに暮らしを彩り、これらのうち亀井氏庭園、岡崎氏庭園、財間氏庭園、田中氏庭園、椿氏庭園は登録記念物となっている。また、水を生かした酒づくりなどの生業も今に引き継がれている。

**■数多くの宗教の混在と民俗芸能・行事**

津和野は小規模な地域であるものの、神道、仏教、キリスト教が根づき、それに関わる民俗芸能や行事等が多くの地域で行われている。

旧城下町においては、国指定の重要無形民俗文化財である津和野弥栄神社の鷺舞、県指定の無形民俗文化財である津和野踊、町指定の無形民俗文化財である鷲原八幡宮の流鏑馬神事のほか、仏教行事である花まつり、キリスト教の行事である乙女峠まつりなどが行われている。

また、旧城下町以外の地域においては、町指定の無形民俗文化財である日原奴道中と青原奴道中などが継承されている。

なお、キリスト教については、列福（ローマ教皇庁に福者として列せられる人物）の調査が津和野町についても進められており、本計画期間には決定すると考えられる。

**■藩校養老館と多彩な人材の輩出（それに関わる歴史文化遺産）**

近世において津和野藩には養老館が設置され、ここでの教育により、多くの人材を輩出した

歴史がある。

現在も藩校養老館の建物等（県の史跡）や森鷗外旧宅、西周旧居、関係する文書・資料などが残っている。

**■様々な伝統産業**

津和野では、自然の恵みを生かした酒や和紙づくり、染め物、農耕を支えてきた鍛冶、京都の文化の影響を受けた和菓子づくりなどがあり、その一部は今も継承されてきている。

これらのうち、酒づくりに関しては町内に３つの造り酒屋があり、各蔵元は登録有形文化財となっている建造物と一体となって営まれ、元蔵元の２軒にも登録有形文化財となっている建造物が残されている。

**■小京都文化（言葉、生活様式）**

津和野は歴史的に京都の文化を取り入れた地域であり、言葉や生活様式にその影響がみられ、前述の庭園や和菓子に加え、煎茶の文化が今も暮らしに息づいている。また、中世に京都から山口を経てはじまった弥栄神社の鷺舞も小京都文化を彩っている。

**■天領の街（日原）**

日原は、銅山があることから江戸幕府の直轄領（天領）となり、高津川の舟運や津和野奥筋往還といった交通基盤、養蚕・製糸や精蝋などの産業によって、発展した歴史を持つ。

現在は近世の建物はなくなったが、街（町割）は引き継がれ、石見瓦の家並みと高津川、そして周囲の緑が景観を特徴づけている。

**■宿場（青原）**

青原は、山陰道と高津川の舟運の結節点にできた宿場で、代官所もあった。

現在は宿場の街並みは残っていないが、青原八幡宮や社叢、境内の石造物、そして民俗芸能などを通じて、かつての賑わいや暮らしを知ることができる。

## ２　津和野町の「歴史文化」の全体的な３つの特徴

歴史文化遺産から見出した、野・山・街を軸とする歴史文化の３つの特徴とともに、以下のような全体的な３つの特徴を見出すことが可能となる。

津和野町の歴史文化がもつこれらの特徴は、津和野町に生きてきた人々の野・山・街へのたゆみない関わりを通じて、津和野町に固有の歴史文化遺産を生み出した。現在、津和野町に残る歴史文化遺産は、これら歴史文化の反映の結果として生まれたものであり、これらの特徴の区分は相互に関連・影響しあうものである。

### （１）山間の“小さき”存在から生まれた多彩な「歴史文化」

津和野町には、山間の盆地や平地、斜面地に街や集落が築かれてきた。これらの街や集落は、いずれも小規模な空間で、地域に点在しており、それぞれを川がつなぐという地形と関わる特色をもっている。

また、近世においては、津和野藩が置かれた地域であり、４万３千石の小藩であった。

地形的にも、藩の規模の面でも“小さき”存在であったものの、幕末の激動期における教育改革によって、多分野において数多くの人材を輩出し、とりわけ幕末から明治においては歴史的な使命を担っていた。

このように、津和野町は山間の“小さき”存在から生まれた多彩な「歴史文化」が息づく地域である。

### （２）開明の気質と交易・交流が培ってきた「歴史文化」

津和野町に生きる人々は川や森、自然の恵みを利用し、生かしつつ、暮らしや地域を築いてきた。決して恵まれているとはいえない環境にありながらも、山間の厳しい条件を克服するように、街道や舟運を通じて、活発な交易・交流を行い、各地の情報や技術を吸収してきた。

こうしたことは、世の中の状況や時代の流れに対する鋭敏さ、開明の気質の醸成につながり、教育や個の充実の重要性を認識し、藩校養老館（ようろうかん）に代表される先駆的な人材育成が行われた。

このように、津和野町は開明の気質と交易・交流が培ってきた「歴史文化」が息づく地域である。

### （３）先史時代から現在までとぎれることなく存在する「歴史文化」

津和野町には、縄文・弥生から古代、中世、近世、そして近代・現在に至るまで、各時代の歴史文化遺産が、数多く存在する。また、歴史的に培われた農業や林業、伝統産業といった生業、そして食文化や習俗、民俗芸能など生業と深く関わる歴史文化遺産が息づいている。現在においても、地域の営みや暮らしの中に、様々な時代から継承されてきた伝統文化をみることができる。

このように、津和野町は先史時代から現在までとぎれることない「歴史文化」が存在し、息づく地域である。

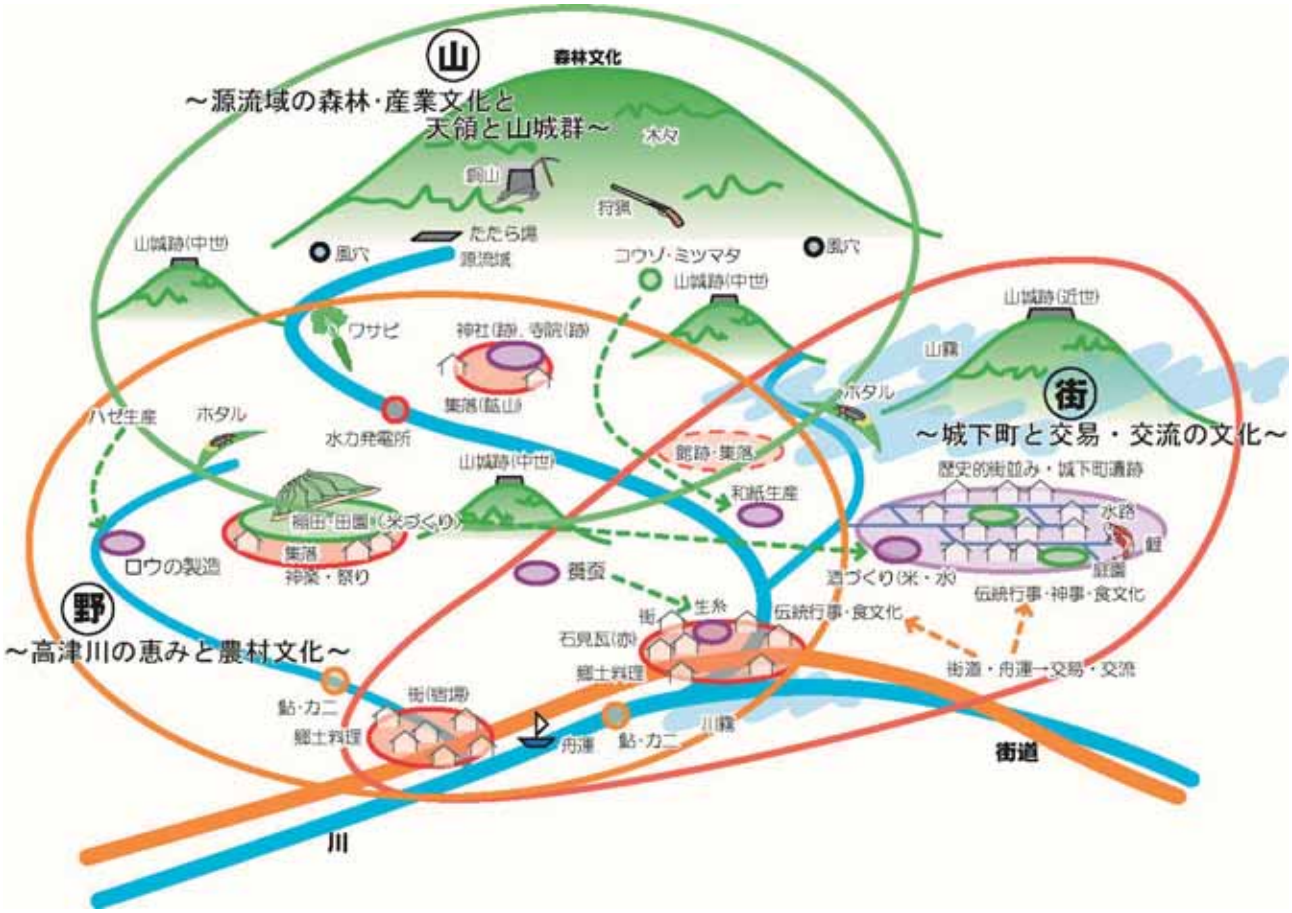



図 2-3　津和野の「歴史文化」の特徴と構成イメージ～野・山・街～

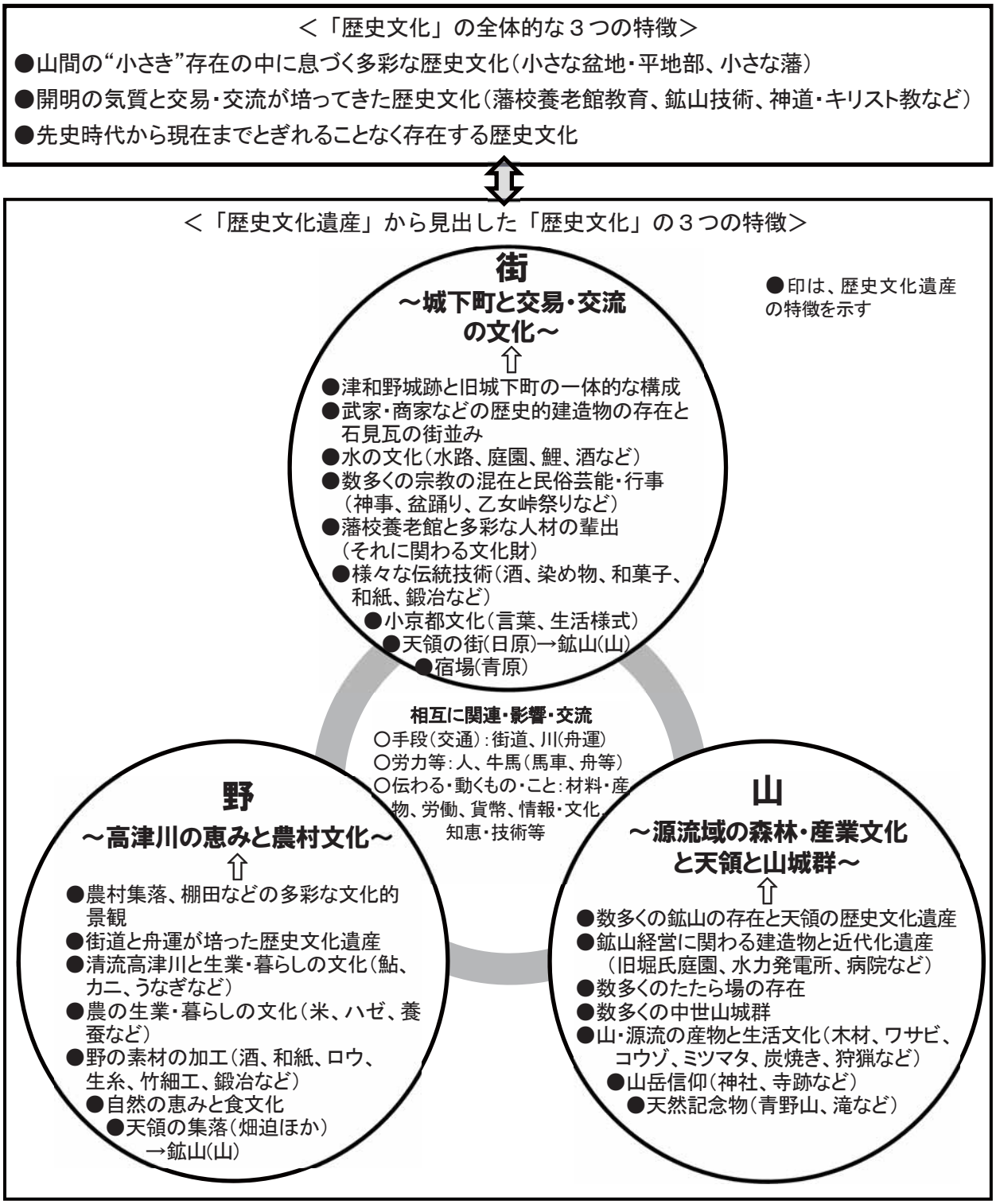



図 2-4　津和野の「歴史文化遺産」と「歴史文化」の特徴